

学校関係者評価実施にあたり

南東松山学園 松山南幼稚園

<教育方針>

心身共に健全な幼児の成長発達のために、適切な環境のもと、集団生活を通して幼児の自主性を育み、豊かな人間性を養うべく、この時期に必要な諸能力の開発を助長し、時代の変化に対応できる未来の子どもを育てる幼児教育を推進する。

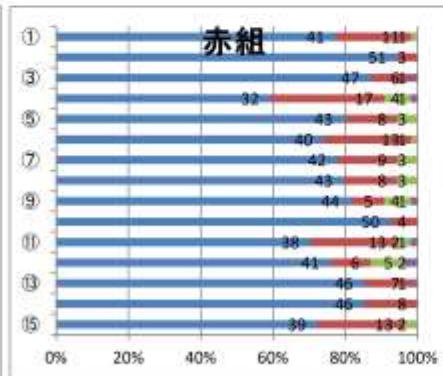
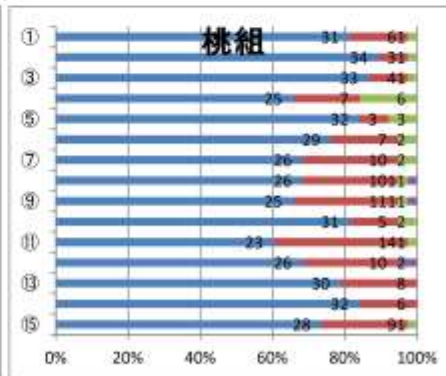
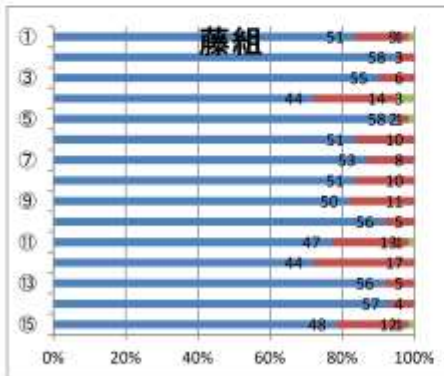
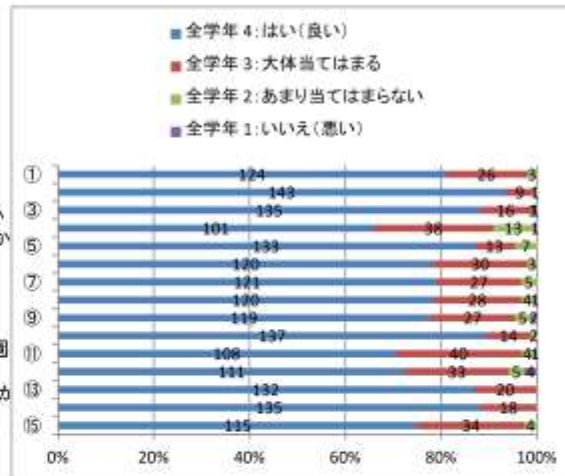
<教育目標>

丈夫なからだで元気よく、豊かな心でたくましく、みんなと仲良く遊べる子

1. 学校評価:4段階評価によるアンケート実施

評価項目

- ①お子さんは幼稚園に行くのを楽しみにしていますか
- ②お子さんは先生を慕っているようですか
- ③お子さんは幼稚園で友達ができましたか
- ④お子さんは幼稚園の出来事を家で話しますか
- ⑤お子さんは諸行事に喜んで参加しましたか
- ⑥お子さんは幼稚園生活で自主性がめばえたと思いますか
- ⑦教師は子ども達の良い所を見つけ伸ばそうとしていますか
- ⑧教師はお子さんの幼稚園生活をよく見てくれていますか
- ⑨教職員はお子さんの健康や安全確保に努めていますか
- ⑩幼稚園の雰囲気は明るい印象が感じられますか
- ⑪幼稚園と保護者の連携がとれていますか
- ⑫幼稚園は環境設備に配慮していると思いますか(園舎、園庭、遊具など)
- ⑬幼稚園からのおたより、通信などの事務処理は的確ですか
- ⑭運動会、お遊戯会などの行事はいいかでしたか
- ⑮協力員制で行事のお手伝いをして頂きましたがいかがでしたか



「4段階評価以外に特別な意見として」

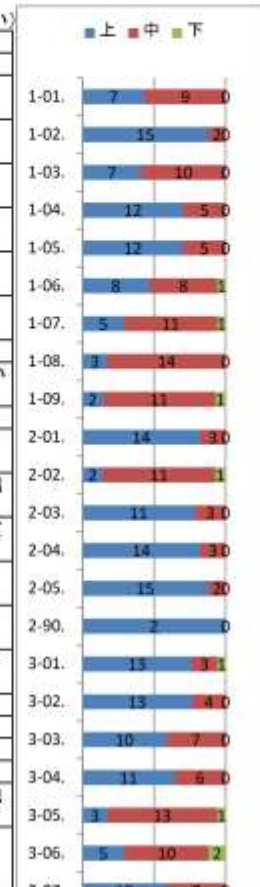
- ・3年間お世話になりました。いつも雰囲気良く、明るい南幼稚園が親子ともに大好きです。細やかに見てくれるし、色々工夫してより良くしようという気持ちがいつも感じられました。本当にありがとうございました!!
- ・お遊戯会の役員さんについて…在園している兄弟がいると、自分の子どもの出番を見られない家庭がありました。1度で終わるからと、2人分されている方も大変そうでした。役決めの際、見る事が大変だという事を声をかけてあげたほうが良いと思います。
- ・一学期に行われる歯科検診に疑問があります。以前から処置歯や未処置歯(素人が見てわかる程のもの)も指摘されず、きちんと検診されているのか疑問です。集団だから…と思ってもおりましたが、少し前の就学時検診では指摘されておりました。費用を払っている以上、もっとしっかり検診頂きたいです。
- ・お弁当が多いのでもう少し減らして欲しいです。
- ・給食費が他の園に比べて割高で、お弁当が多いのが負担に感じました。お弁当の日を減らす等ご検討いただきたいと思います。給食試食会も子どもと一緒に同じ食べる等で、お弁当の回数を減らしていただきたいです。
- ・給食費が高いわりに4月、イベントの時などにお弁当が多く負担が多いと感じます。お弁当の日をへらすなどご検討していただきたいです。給食試食会などもお弁当ではなく子どもと一緒に同じ給食を食べられた方がよいです。
- ・給食費が高いので、お弁当の日を減らして欲しいです。ご検討の程、宜しくお願い致します。
- ・クラス役員さんが居てくれると良いです。
- ・給食費、延長保育の料金が高いと思います。長期の休み、時短保育の時も含めると、全体的に高いです。
- ・参加や行事のお便りがもう少し早いと職場への提出や対応がスムーズになり、助かります。
- ・近隣の幼稚園に比べ、給食費や預かり保育代が高いのと、お弁当の振替が少ないのを改善して頂けるといいです。
- ・給食費が高いうえに4月などお弁当の日が多く負担が多く感じます。お弁当の日をへらすなどご検討していただきたいです。
- ・4月のお弁当が多いので、おにぎり弁当やパン給食でもかまわないので検討していただきたいです。

2. 自己評価

ー1. 実施項目

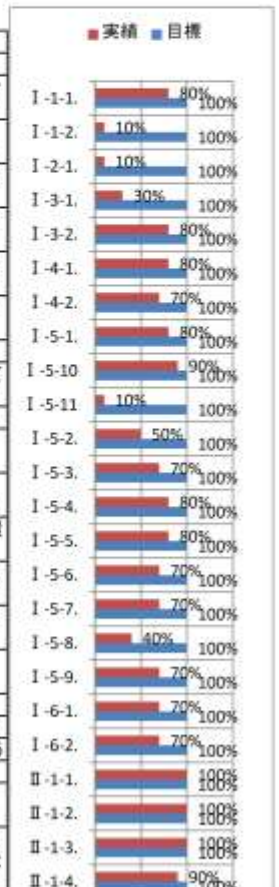
自分磨きチェック:3段階評価(上(良い)・中(普通)・下(悪い))

評価項目	上	中	下
(1)「子ども」について			
01.子どもの表情・しぐさ・つぶやきなどを見逃さずに受け止めている	7	9	0
02.子どもの発見を素晴らしいと思い、感動することがある	15	20	0
03.その場限りで子どもを判断せず、継続的に見て判断している	7	10	0
04.子どもの行動に対して、なぜそうするのか心の理由を考えたり、探ってみる	12	5	0
05.結果だけでなく、課程や取り組み具合をよく見ている	12	5	0
06.子どもであろうと、適切な言葉遣いを心がけている	8	8	1
07.園の教育方針を理解し、保育の中で活かしている	5	11	1
08.上司の話や文書の意味を理解し、保育の中で活かしている	3	14	0
09.偶然に起こったこと(雪や虹)なども保育の中で活かしている	7	11	1
(2)「保護者」について			
01.保護者の言い分を素直に受け止め、否があれば謝り、出来ることは改善していく	14	3	0
02.子どもに関する専門的な情報や知識を有し、保護者の質問や疑問に答えられる	2	11	1
03.子どもの変化や出来事を出来る限り保護者に伝えようとしている	11	10	0
04.保護者との接し方は平等になるように心掛けている	14	3	0
05.保護者との接し方は平等になるように心掛けている	15	20	0
06.保護者との接し方は平等になるように心掛けている	2	0	0
07.保護者との接し方は平等になるように心掛けている	13	3	1
(3)「保育者(自分磨き)」について			
01.朝と帰りの挨拶を明るく言っている	13	4	0
02.人に呼ばれた時は、はっきりと返事をしている	10	7	0
03.自分の分担当以外のことも関係ないと思わない	11	6	0
04.同僚との共同作業の場合でも自分のこととしてとらえ、他人任せにせず行っている	3	13	1
05.指示や伝言事項を正確に確認して伝える	5	10	2
06.指示や伝言事項を正確に確認して伝える	16	7	0



自己評価:達成判断(出来ているものにチェック)

評価分類	内容
1.園の教育理念・教育目標の理解	園の教育理念や教育目標を理解する 園の教育理念に基づいて教育目標について保育者と話し合う
2.幼稚園教育要領の理解	幼稚園教育要領を読み、保育者と話し合って理解に努める
3.教育課程の編成	園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育目標を基に編成する 園の教育課程を理解し、それに基づいて保育の計画を立てる
4.指導計画の作成	指導計画は幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に作成する 指導計画は幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるような順応性のあるものにする
5.環境の構成	安全で清潔感のある環境を構成する 幼児が主体的にかかわりたくなるような素材や遊具を考えて環境を構成する 幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成を遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量に配慮して用意する 楽しい雰囲気のなかで安心して遊びこめる環境を構成する 幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成する 幼児の発想を柔軟に取り入れて、保育室の装飾や展示をする 園地、園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、環境構成にいかす 幼児の発達や生活を見通した環境の構成をする
6.評価・反省	季節の変化に応じた環境の構成をする 異年齢の幼児が自然に交流できるような環境の構成をする 自分の保育についての評価・反省をいくつかの観点から行う 自分の保育を評価・反省することで、次の保育にいかす
1.健康と安全へ	朝の登園時には特に検診を大切にし、子どもの体調が悪くないかを確かめる けがや事故に気を付け、万一、事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらうなど適切な処置を行う



学校関係者評価実施にあたり

南東松山学園 松山南幼稚園

ー2. 自己評価結果(検証報告)

教職員に対して自己評価及び自分磨きチェックを実施した結果を取りまとめ検証した結果と留意すべき内容は以下のようになります。

- 01.教職員は理念や教育目標に沿った計画に基づき保育に当たり、その都度、記録を取り考慮しながら保育に努めている。
- 02.教職員の行事の取り組みについては、昨年に引き続き事前にもう少し段取りをスムーズに運べるようにする必要がある。
- 03.教職員は幼児理解に積極的に取り組み、個人記録にてらして個々に応じた援助ができています。
- 04.教職員の園活動において失念や確認不足によるうっかりミスによる誤りの発生がある。
- 05.教職員は規範を守り、指示に従い、自身の向上に努めている。
- 06.教職員については良識や適性を持って責務を全うしているが、もう少し積極性や明るい雰囲気も必要。
- 07.教職員は保護者対応において親身な対応を誠意を持って対処している。
- 08.教職員はこの地域での恵まれた自然環境・社会環境の中で様々な機会を増やす必要がある。
- 09.教職員は自己の向上を常に念頭に置き、自己研鑽を行う必要がある。

3. 自己評価に対して今後取り組むべき課題

課題	対象領域	取り組み内容
教育要領の大幅改定による基本的理解の不足	I. 保育の計画性	教育要領の解説書や外部研修の活用する。園内での解釈と実践方法を検討し教育課程への導入方法を検討する。
幼児理解のための多面的に考察する力を向上する	II. 保育の在り方、幼児への対応 III. 保育者としての資質と能力	自分以外の価値観や見方を理解するために、幼児がなぜ、その行動したり言葉を出したのかを考えるようにしたり、自分以外の人がどのように理解したかを確認するように心がける。時と場合、立場や環境等の違いで物事の見え方考え方が変化することを理解するように心がける。また、記録することで比較検討できるようにする。
職員間での意見交換や情報交換がうまく行われない事がある		保育や園の仕事での意見交換・情報交換は公けの事であるという認識を職員全員で共有し、立場や経験に関わらず半直に行うことを心がけること。 強い意見が正しい事でなく、園の規則・規律や社会通念上の正しさを認識した上で、それぞれが意見を述べて十分検討し確認する。 なお、意見交換や情報交換の際は個人を責めることなく、内容についてを正当に評価しての発言を心がけること。
園や教職員に対する保護者や外部からの苦情や不満についての共通認識が図れていない場合に対応が不十分な場合がある。	IV. 保護者への対応	苦情や不満が伝えられた場合は、内容・状況を把握し出来るだけ速やかに上司に連絡・相談すること。 それを受けた上司は内容・状況を十分に確認し対応を決定し対処すること。 また内容を伝達する対象者を選定し園の運営に支障ないように情報を共有できるようにする。
園としての行事や活動が主となっているため、地域社会の情報共有や関わりに自分が主体となって考えるのが難しい。	V. 地域の自然や社会とのかかわり VI. 研修と研究	現在も参加している小学校の行事や連携、地域の商業施設等のイベントなどをきっかけとして情報を収集したり興味を持つ事。また、それらを通じて地域社会との協力・連携について考えていく。

4. 幼稚園運営の改善に向けた取組む実施項目として

- ※1. 園では学校評価および自己評価の結果を踏まえ保育について再確認を実施します。
- ※2. 園では施設・設備・遊具等の安全点検を実施します。また、利用方法やその指導を含め再確認を行います。(遊具使用での怪我発生事例あり)
- ※3. 園では現在主流となっているスマートフォン等の携帯情報端末対応のホームページにリニューアルします。
- ※4. 園では利用が必須となっているICTにおいて、セキュリティー等安全に利用する上でのインフラ整備の一環として新機種パソコンを導入します。(順次代替検討)

なお、学校評価内での意見の中で平成30年度に改善実施項目として、「お弁当の回数を減らして欲しい」という要望(複数有り)については、短縮1時保育でのお弁当をパン給食を実施する事で減らす予定です。

4. 学校関係者評価

ー1. 自己評価の結果の内容は適切であったか

教職員は「自己評価」および「自分磨きチェック」について、各設問・項目について真摯に受止め自分を客観的に公正に判断していると判断できることから、自己評価の結果の内容は適切であると思います。

ー2. 自己評価の結果を踏まえ設定した今後取り組むべき課題は適切か

「自己評価結果(検証報告)」から「自己評価」および「自分磨きチェック」について、教職員全員また園全体の傾向としてとらえ評価や課題を捉えていることは適切であると思います。

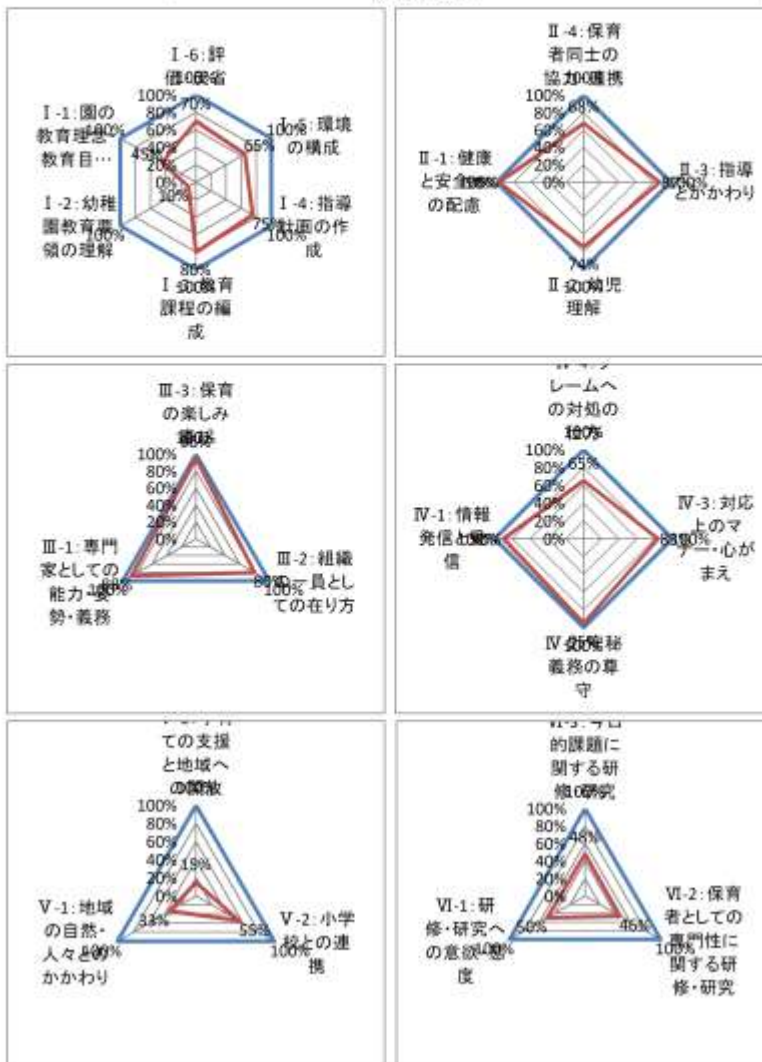
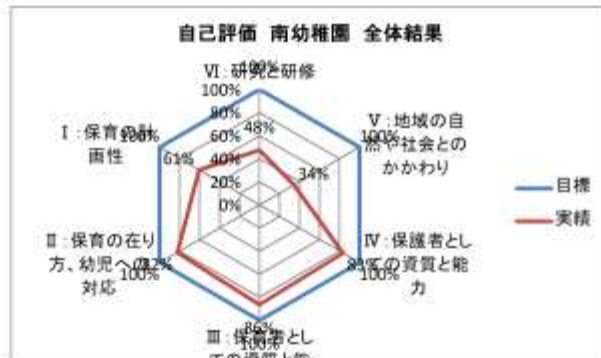
ー3. 自己評価で設定した重点的に取り組むことが必要な目標・計画、評価項目の設定は適切か

「自己評価」および「自分磨きチェック」の結果を取りまとめ数値として捉えていて、グラフ化等の視覚的に問題となる点が抽出されている。
また、それらに対して目標や課題設定していることから適切であると思います。

ー4. 幼稚園運営の改善に向けた取り組みは適切か

園として改善を取組むべき内容は多岐にわたり様々だと思われますが、可能な事はすぐに取り組む(お弁当についてを減らしパン給食へのすぐに対応するなどは助かります)、時間が必要な内容については課題として提示している事などから適切であると思います。
また、この報告書には有りませんが、降園後の園庭を休める時間後の適切な時間にお帰りの音楽を放送するなど子ども達の帰宅がスムーズになり助かります。

06.自分の意見がある場合は、職員会議等で述べている	3-08.	9	7	0
07.自分の考えややり方と違っても、文句や愚痴を言わず、決まったことには従う	3-09.	5	11	0
08.出来ない理由を考えるより、どのようにしたらよいか対策を考える	3-10.	7	10	0
09.優先順位を考えて臨機応変に仕事をこなす	3-11.	4	12	0
10.常に集合時間や開始時間、提出期限を守る	3-12.	10	7	0
11.どんな場所も整理整頓を心がける共に、みなが使いやすいように見直す	3-13.	4	11	2
12.同じ注意を二度、三度と受けないように心掛ける	3-14.	12	5	0
13.緊急の時でも焦らず、落ち着いた行動がとれる	3-15.	12	5	0
14.職員同士仲良く派閥やグループをつくらない	3-16.	9	8	0
15.同僚や上司、園の批判等軽はずみな行動はしない	3-17.	12	3	0
16.勤務中は、私生活の喜怒哀楽を持ち込まずに常に明るく振る舞える	3-18.	5	9	0
17.保育者という職種や園の信用を考えて発言する	3-19.	6	7	2
18.保育時間以外でも子どもを育てる保育者として自覚を持ち行動している	3-20.	8	7	0
19.「あなたはどんな保育感を持っているか」の問いに答えられますか	3-21.	11	5	0
20.子どもの育ちを一番に考え、そのためには労を惜しまない姿勢がある	3-22.	13	4	0
21.苦手なことも、出来るだけチャレンジしたいと思う	3-23.	16	0	0
22.いつも学びの姿勢「向上心」を持ち、努力していきたい	3-24.	9	8	0
23.子ども達に優しさと愛情を注ぎたいと思う	3-25.	10	7	0
24.注意されたことを素直に受け止めることができる	3-26.	7	8	2
25.常に健康で保育に当たれるよう体調管理に気を配っている	3-27.	7	6	4
26.社会の動きにも関心を示し、ニュースや新聞等よく見る	3-28.	14	2	0
27.スポーツや趣味、習い事をしている	3-29.	12	5	0
28.旅行が好きである	3-30.	5	11	0
29.自分が成長できそうなどころには、アンテナを伸ばしたいと思う	3-31.	11	5	0
30.デパートや専門店などのディスプレイに興味がある	3-32.	6	7	4
31.時間を見て映画やコンサート、美術館、図書館、グルメに目を向け、多様な文化に触れたい	3-90.	3	0	0
32.幅広い職業、立場、世代との交流がある				



II 保育の在り方、幼児への対応	の配慮	園内に危険な箇所がないか、危険な遊び方はしていないか常に配慮し、危険が予測される場合は安全な遊び方について幼児と一緒に考える	II-2-1.	80%	100%
		園内の清掃や整理整頓、換気、採光、室温などに気を配る	II-2-2.	90%	100%
		一人ひとりの幼児をよく観察すると同時に周囲にも目を配る	II-2-3.	60%	100%
		幼児の話をよく聞き、幼児の思いを受けとめる	II-2-4.	90%	100%
		個々の幼児の発達の特徴や課題について、見通しをもって理解する	II-2-5.	90%	100%
		幼児同士のかかわりの姿を捉え、そこでの幼児の育ちを理解する	II-2-6.	90%	100%
		幼児たちが今、興味や関心をもっていることを知る	II-2-7.	20%	100%
		幼児の理解のために家庭との連携をとる	II-3-1.	90%	100%
		幼児の姿を多面的に捉えるように心掛ける	II-3-10.	90%	100%
		幼児の思いや考えに共感しながら、幼児と一緒に活動する	II-3-11.	100%	100%
		幼児が理解しやすいような、正しい言葉を使う	II-3-2.	70%	100%
		幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしない	II-3-3.	90%	100%
		善悪の判断、思いやりなどの道徳性を培ううえでのモデルとなるように心がける	II-3-4.	90%	100%
		幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子のよさを認めるように心がける	II-3-5.	90%	100%
		幼児の話をよく聞いたり、スキンシップをとるようにする	II-3-6.	80%	100%
		クラスの環境構成などについてもお互いにフランクに意見を交換し合う	II-3-7.	80%	100%
		幼児の年齢に応じた援助の仕方を工夫する	II-3-8.	90%	100%
		幼児自ら考えたり工夫したりできるように見守り、行き詰っているときには適切な援助をする	II-3-9.	90%	100%
		幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をするように心がける	II-4-1.	90%	100%
		幼児を無視したり、体罰を加えることなどのような場合もしな	II-4-2.	50%	100%
		クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉かけや対応をするように心がける	II-4-3.	80%	100%
		クラスの環境構成などについてもお互いにフランクに意見を交換し合う	II-4-4.	50%	100%
		幼児のすることについて保育者同士で話し合い、共通理解をするように心がける	III-1-1.	80%	100%
		他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うような、さまざまな工夫をする	III-1-2.	80%	100%
		幼児の性格や個性を把握し、幼児の考えや感じていることを理解する	III-1-3.	80%	100%
		保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努める	III-1-4.	90%	100%
		保育時間外でも保育者としての誇りと自覚をもった言動を心がける	III-1-5.	100%	100%
		幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込まないようにする	III-1-6.	100%	100%
		幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにする	III-1-7.	100%	100%
		服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がける	III-1-8.	90%	100%
		職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守	III-1-9.	70%	100%
		園の重要書類は持ち出さない	III-2-1.	90%	100%
		連絡のある仕事や提出物は締切日をきちんと守る	III-2-2.	60%	100%
		教職員全員で一つのチームであることを自覚する	III-2-3.	90%	100%
		他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるよう努める	III-2-4.	80%	100%
		子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談をする	III-2-5.	80%	100%
		当番や役割による仕事は確実に実行	III-3-1.	90%	100%
		園や保育者に関することについては、軽はずみに他に話さ	III-3-2.	100%	100%
		幼児の成長を自分の喜びと感じる	IV-1-1.	80%	100%
		幼児と一緒に生活を創りだすことを楽しいと感じる	IV-1-2.	100%	100%
		保護者に個々の幼児の様子を伝える工夫をする	IV-2-1.	100%	100%
		保護者からの相談や要望には心を開いて、よく話を聞くように心がける	IV-2-2.	90%	100%
		保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針に従う	IV-2-3.	90%	100%
		個々の幼児や保護者、家族の情報は口外しない	IV-3-1.	80%	100%
		日常生活において、その場に合った正しい言葉を使うようにする	IV-3-2.	80%	100%
		電話は、相手が見えないため誤解が生じやすいことを心に留め、簡潔にわかりやすく話すことを心がける	IV-3-3.	80%	100%
		保護者からの依頼や伝言などについては、メモをするなどきちんと対応する	IV-4-1.	30%	100%
		保護者からのクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に報告、連絡、相談をする	IV-4-2.	50%	100%
		クレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解のうえで対応する	V-1-1.	10%	100%
		地域の自然や主な施設の場所、交通機関、行事などについて理解するよう努める	V-1-2.	40%	100%
		地域の自然や機関についてマップを作成するなど、利用しやすい工夫をする	V-1-3.	10%	100%
		小学校の教育内容について理解するよう努める	V-2-1.	80%	100%
		地域の小学校の行事や公開授業に関心をもつ	V-2-2.	20%	100%
		子育ての支援や地域開放について具体的な形や内容を理解する	V-2-3.	10%	100%
		子育ての支援や地域開放について、教職員全体で話し合う	V-2-4.	10%	100%
		研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加する	V-2-5.	50%	100%
		自分の保育の在り方や悩みについて、他の保育者や主任、園長に相談する	V-2-6.	50%	100%
		幼児の発達理論を学び、保育にいかすための研修・研究を記録の取り方、考察の仕方に関する研修・研究を行う	V-2-7.	30%	100%
		教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・研究を行う	V-2-8.	40%	100%
		保育記録に基づいた評価方法と計画に関する研修・研究を行う	VI-1-1.	10%	100%
		保護者への対応に関する研修・研究を行う	VI-1-2.	50%	100%
		地域社会との交流に関する研修・研究を行う	VI-1-3.	90%	100%
		保護者同士の協力・連携に関する研修・研究を行う	VI-1-4.	50%	100%
		アレルギー、自立の遅れなど、最近多くみられる問題について理解する	VI-1-5.	50%	100%
		障がいのある幼児の理解と対応について研修する	VI-2-1.	60%	100%
		預かり保育や子育ての支援について研修する	VI-2-2.	40%	100%
		幼小連携の必要性や具体的方策について研修する	VI-2-3.	30%	100%
		危機管理の必要性と対応について研修する	VI-2-4.	70%	100%
			VI-2-5.	40%	100%